

わくわく 本だな



こんげつのおすすめ

★ = 1・2年

★★ = 3・4年

★★★ = 5・6年

『それなら いい いえありますよ』 (えほん)

澤野 秋文/作・絵 講談社



ねこのちゃまるは、おもいどおりのいえをさがしてくれます。ぎんたのいえは、ちらかしほうだい。きれいないえをさがしてもらおうと。

『キリンがくる日』 (えほん)

志茂田 景樹/文 木島 誠悟/絵 ポプラ社



けんとはキリンがだいすきです。でも、どうぶつえんにはキリンがいません。「キリン、いつ、くるのかな……」

『どこかいきのバス』 ★

井上 よう子/作 くすはら 順子/絵 文研出版

おかあさんにたからものをすてられて、ぼくはバスで家出した。「どこかいきのバスは、水にもぐったり、空をとんだり。どこへいくんだろう。」



『いってきまあす!』 ★★

升井 純子/作 講談社

今日から4年生。歩美^{あゆみ}は、友だちと地下鉄に乗ってスタンプラリーをするのを楽しみにしていました。しっかり計画して、いよいよ出発です!



『ローズの小さな図書館』 ★★★

キンバリー・ウィリス・ホルト/作 谷口 由美子/訳 徳間書店



パパが家を出ていってから、ローズの家は明日の食べ物さえありません。ローズはなんとか年をごまかして、図書館バスの運転手^{おうぼ}に応募します。

『おかあさんのそばがすき』

—犬が教えてくれた大切なこと— (ちしきの本)

今西 乃子/著 浜田 一男/写真 金の星社



子犬のころにやってきた蘭丸^{らんまる}。おかあさんになったわたしの役目は、楽しい時も、つらい時も、ずっといっしょにいてあげることです。



『 マッチ箱日記 』 (えほん)

ポール・フライシュマン／作 バグラム・イバトゥリン／絵
島 式子、島 玲子／訳 B L出版

字がかけなかったひいじいちゃん
の日記は、たくさんのマッチばこ。
字のかわりに、その日の思い出をし
まっております。



『 しょうぶだ しょうぶ! 』 ★

野村 一秋／作 ささき みお／絵 文研出版



ガミヤマ先生は、いつもおこって
ばかり。先生とケンカしたイサムは、
お昼やすみにしょうぶすることに。
さあ、どっちがかつかな？

『 さいこうのスパイス 』 ★

亀岡 亜希子／作・絵 PHP 研究社



オオカミのシェフはりょうりじまん。
ところが、リスのぼっちゃん、何を食
べても「まずい」といいます。がっかり
したオオカミは……。

『 6人のお姫さま 』 ★★

二宮 由紀子／作 だんじ あきこ／絵 理論社



6人のお姫さまのなかで、1番うっ
くしいのはだれ？ “名なしの魔女”が
姫をりんごでころそうと、おしろへ向
かいます。

『 ただいま! マラング村 タンザニアの男の子のお話 』

★★

ハンナ・ショット／作 佐々木 田鶴子／訳
斉藤 木綿子／絵 徳間書店



ツソはおばさんとくらしています。ご
はんを少ししかもらえないので、いつも
おなかをすかせていました。とうとう、
ツソは、お兄ちゃんにとげだします。

『 となりの鉄子 』 ★★★

田森 康介／作 勝川 克志／絵 偕成社



転校生の鉄子は、頭がよくてなんでも
できる。おまけにすごく力もちで、ちょ
っと気になる女の子。だけどある日、ぼ
くは鉄子のひみつを知ってしまった。

『 サラの翼 』 ★★★

稲葉 なおと／作 スカイ エマ／絵 講談社



サラはママが計画してくれた旅に出
た。旅の相棒は、軽くていいかげんな
コウおじさん。地図も読めないし、英
語もだめ。この人、いったいなんなの？

『 カマキリの生き方 さすらいのハンター 』

(ちしきの本)

筒井 学／写真・文 小学館

生まれてすぐに1匹で生きてゆく
カマキリ。天敵にねらわれながら、
ハンターへと成長してゆきます。



『 みな また、よみがえる 』 (ちしきの本)

尾崎 たまき／写真・文 新日本出版社

みなまた おすい すいぎん
水俣病は、工場の汚水の中の水銀に
よっておこる病気です。汚水は海の生
き物たちも苦しめてきました。何十年
もかけて、海は元気を取り戻します。



読みたい本、さがしている本は窓口で聞いてね! としょかんのホームページも見てください。

< 編集・発行 > 富山市立図書館 富山市丸の内1丁目4-50 電話 076-432-7273